

在香港日系企業数の公表について

1. 在香港外国企業数の統計データの公表について

2022年11月24日、香港政府統計処は香港に拠点を置く外国企業（中国本土系企業を含む）の数を公表しました。これによると、外資系企業の数には2022年6月1日時点で8,978社、そのうち日本企業は1,388社となり、前年と横ばいの数でした。過去5年の推移は以下の表のとおりとなります。

2019年以降の民主化デモ及び国家安全法の施行に伴う社会混乱や、新型コロナウイルスの流行に伴い長期化する渡航制限の影響で大幅な減少が予想されていましたが、在香港日系企業数は横ばいで推移しており、多くの日系企業は香港拠点の存在意義を冷静に判断しているようです。

【表1：在香港外国企業数の推移】

(単位：社)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
地域統括本部 (RHQ)	1,530	1,541	1,504	1,457	1,411
地域事務所 (RO)	2,425	2,490	2,479	2,483	2,397
現地事務所 (LO)	4,799	5,009	5,042	5,109	5,170
計	8,754	9,040	9,025	9,049	8,978

【表2：在香港日本企業数の推移】

(単位：社)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
地域統括本部 (RHQ)	244	232	226	210	212
地域事務所 (RO)	421	431	427	423	402
現地事務所 (LO)	728	750	745	755	774
計	1,393	1,413	1,398	1,388	1,388

香港政府統計処「2022年有香港境外母公司的駐港公司按年統計調查報告」から引用

- 地域統括本部 (RHQ : regional headquarters) : 香港外に親会社があり、親会社に代わって香港及びその他の地域の拠点の運営に対するマネジメント権限を持っている拠点
- 地域事務所 (RO : regional office) : 香港外に親会社があり、親会社に代わって香港及びその他の地域の拠点の運営を調整する責任を持っている拠点
- 現地事務所 (LO : local office) : 香港外に親会社があり、香港でのビジネスのみを担当する拠点



2. 水際対策を一段と緩和

香港政府は 2022 年 11 月 17 日、新型コロナウイルスの水際対策を一段と緩和しました。コロナワクチン接種済みであることを QR コードで証明する「ワクチンパス」制度の運用ルールを変更し、入境後 3 日間は立ち入りできなかった施設の一部が利用できるようになりました。

ワクチンパスの対象施設は、「安心出行」のアプリで施設のコードをスキャンするだけで利用できる施設（パッシブチェック施設）と、施設のコードをスキャンしてから自身の QR コードを施設に提示しなければ利用できない施設（アクティブチェック施設）の 2 種類に分かれており、17 日からの緩和でパッシブチェック施設が増えたこととなります。

また、入境後の強制 PCR 検査の回数も減らし、香港到着日を 0 日目として 4 日目と 6 日目の検査は不要となりました。台湾を含む海外からの入境者に義務付けられる PCR 検査の回数は 17 日から、到着日を 0 日目として、0 日目と 2 日目の 2 回のみとなります。

フェアコンサルティング香港

(Fair Consulting Hong Kong Co., Limited)

香港九龍海港城海洋中心 16 樓 1629A-30 室

電話：+852-2156-9698

担当：山口（YAMAGUCHI）日本国公認会計士

ka.yamaguchi@faircongrp.com

「FCG 中華圏 ニュースレター」本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板の掲載等はお断りいたします。

「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。

フェアコンサルティンググループでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、「FCG 中華圏 ニュースレター」で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、フェアコンサルティンググループ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。